

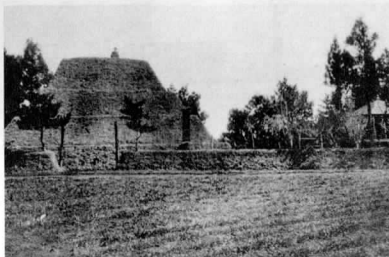
香取遺産

vol.160

こく ぶく かん よう き えん
克復館養気園の門柱

市内ではかつて、明治時代中ごろに地域住民の中等教育への要求から、小学校卒業生を対象とした私塾が多く設立されました。その一つに布施龜次郎が山田地区の古内に設立した克復館があります。

龜次郎は、螟蛉塾
(佐原)や二松学舎などで漢籍を学んだ後、明治38年に克復館を設立しました。大正5年に大正天皇の大礼記念として開



▲克復館養気園

設した克復図書館には、漢籍を中心に3千冊を超える書籍があり、多くの人が利用しました。また、私塾でありながら養気園という運動場もあり、そこには富士山を望む築山があったといわれています。

当時の若者たちからは「良文の無逸塾か、古内の克復館か」といわれるほどの人気でしたが、後継者がいなかった

ため、昭和の初めごろには私塾としての役目を終えます。後に建物は山田町公民館府馬分館として使われていましたが、火災で失われてしまいました。しかし、運動場の入口に立っていた門柱は現在でも残されています。

昭和8年に建てられたこの門柱には、漢詩が刻まれています。そこには夕日に染まる雪山の様子や朝日に照らされた雲の様子について書かれており、富士山を連想させる内容となっています。わずかに私塾の面影を残す門柱ですが、ここから当時の若者たちが学んだ情景を思い浮かべてみてはいかがでしょうか。

圃 生涯学習課 ☎(50) 1224



◀養気園の門柱